

会 議 録 ( 1 )

会 議 の 名 称	令和7年度 第4回 入間市障害者福祉審議会		
開 催 日 時	令和8年2月6日(金) 午後3時00分 開会 / 午後4時40分 閉会		
開 催 場 所	入間市役所 C棟5階 501会議室		
議 長 氏 名	今井 英雄		
出席委員(者)氏名	今井 英雄 田邊 仁 横田 修	荻野 亨 田中 智子 粕谷 浩史	黒古 次男 金平 里美 新井 豊吉
欠席委員(者)氏名	磯田 英穂 西尾 敦子 富田 千代		
欠席委員(者)氏名	川野 志保 森田 秀子 岡内 藤雄		
説明者の職氏名	課長 小笠原 昌平・副主幹 市村 正子・副主幹 小俣 里子		
会 議 次 第 (公開)	1 開会 2 会長あいさつ 3 議題 (1)入間市障がい者福祉プランの令和7年度取組状況について (2)検討部会の活動状況について (3)令和8年度入間市障害者福祉審議会年間予定について 4 その他 5 閉会		
非 公 開 理 由	公開		
傍 聴 者 数	なし		
配 布 資 料	1 令和7年度 第4回入間市障害者福祉審議会 次第 2 入間市障がい者福祉プラン令和7年度取組状況報告書 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料1</span> 3 令和8年度入間市障害者福祉審議会年間予定表 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料2</span> 4 入間市障害者福祉審議会委員名簿 5 各部会報告書		
事務局職員職氏名	福祉部長 須田 美菜子 障害者支援課長 小笠原 昌平 副主幹 小俣 里子 福祉部次長 忽滑谷 敦子 副主幹 市村 正子 副主幹 石山 実穂		
会議録作成方法	要点筆記		

## 会 議 録 (2)

### 議 事 の 概 要 ( 経 過 )

#### ○ 議題

- (1) 入間市障がい者福祉プランの令和7年度取組状況について
- (2) 検討部会の活動状況について
- (3) 令和8年度入間市障害者福祉審議会年間予定について

会 議 録 ( 3 )

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>(委員からの発言部分のみ記述する)</p> <p>次第3議題(1)「入間市障がい者福祉プランの令和7年度取組状況について」に入る。事務局から説明願う。</p>
障害者支援課副主幹	<p>(入間市障がい者福祉プランの令和7年度取組状況について説明)</p>
議長	<p>ただいまの説明について質問・意見があるか。</p>
粕谷委員	<p>施策8(1)インクルーシブ保育・教育の充実で、学校教育課の取組状況にある「支援籍を受入れ」とはどのようなことか。</p>
障害者支援課長	<p>特別支援学校の児童生徒を市内小中学校で受け入れ、交流を図っていると認識している。また、受け入れに際しては教員間でも情報交換を行うなど、連携が行われている。</p>
富田委員	<p>特別支援学校の児童生徒が希望により居住地の学校にも籍を置く制度である。実施に際しては、学校、本人、家族が相談の上、体育や交流会などの具体的な参加場面を決定し、交流を図っている状況である。</p>
黒古委員	<p>障害のある児童生徒も地域の学校で共に過ごすことが重要である。かつては特別支援学校と自宅をスクールバスで往復するのみで、地域との関わりが希薄であったが、卒業後の地域生活を見据え、居住地の子どもたちとの交流を図ることが重要であると考えられた。これは、現在のインクルーシブ教育の先駆けとなる取り組みであると認識している。</p>
横田委員	<p>施策9(2)「地域イベントでの交流による相互理解を促進」について伺う。</p> <p>ここでは自治会や区と連携して理解を進めるとあるが、実際に地域で行われたイベント等の事例があれば教示願いたい。地域において自治会等で障害者理解をどのように進めるべきか検討しており、参考となる事例を知りたい。</p>
障害者支援課長	<p>担当課に確認し、後日回答する。</p>
磯田委員	<p>施策8(3)「心のバリアフリーの推進」における学校図書の充実について伺う。</p> <p>本項目は達成度が「1」とされ、十分な取り組みが行われているとの評価だが、本来の目的は図書の充実そのものではなく、それを通じた心のバリアフリーの推進にあると考える。</p> <p>については、実質的な効果を確認するため、具体的な図書の利用率等の調</p>

発 言 者	発 言 内 容
障害者支援課長 田邊委員	<p>査が行われているか、確認を求めたい。</p> <p>担当課に確認し、後日回答する。</p> <p>調査票の取組評価（達成度）は障害者支援課が他課を評価しているのか、それとも担当課が評価しているのか。また、その評価の基準は統一されているのか。</p> <p>分類無し今後の評価方針、あわせて「地域生活支援」における施設からの地域移行者数など、その進捗状況によるものと思うがその記載が見られない。評価にそこはちゃんと含まれているのか。</p>
障害者支援課副 主幹	<p>取組評価（達成度）は担当課がしているものである。</p>
障害者支援課長  黒古委員	<p>各課の取組状況について障害者支援課で評価することは現状難しい。評価の基準について今後事務局で検討していく。分類無しの評価についても、今後経緯を反映させプランの策定に生かせるよう検討する。</p> <p>施策1「地域生活支援の充実」の評価に関し、現行計画では対象を全障害種別に拡大した経緯があるが、記述内容には身体・知的障害等への視点が不十分に見受けられる。精神障害者に限定せず対象を広げた趣旨を踏まえ、他の障害種別に関する取り組みや評価が含まれているか伺いたい。</p>
障害者支援課副 主幹 黒古委員	<p>変更された点は認識していた。今後、身体障害や知的障害の方への支援の在り方を検討していく必要があると考えている。</p> <p>精神障害者に限らず、多様な課題を抱える人々を対象とし、多機関が連携して支援を行うものと認識している。先ほどの地域生活支援の議論とも関連すると考えるが、重層的支援体制整備事業の概要について説明を求めたい。</p>
障害者支援課長  横田委員	<p>令和8年度の本格実施に向け、現在は福祉総務課を中心に多分野の関係各課が連携し協議を進める移行準備期間である。本事業は従来の部署間連携を制度としてより強固にするものであり、国の指針が市の実情に即しているか等の検証を行いつつ、体制整備を通じて相談・支援機関等の連携強化を図っていく。</p> <p>本事業は、高齢や障害など複合的な課題に対し、市や社協等の多機関が協働して最適な支援を検討し解決を図る仕組みづくりであると認識している。</p>
荻野委員	<p>各課による自己評価では評価基準にばらつきが生じる懸念がある。こうした評価のばらつきを是正し、平準化を図るための会議や仕組みなどは設</p>

発 言 者	発 言 内 容
障害者支援課長	けられているか。
荻野委員	<p>数値化による評価は今回初実施だが、自己評価のため基準にばらつきが生じる可能性は認識している。現状では基準に関する認識共有の場は設けられていないため、今後の課題として検討していきたい。</p>
議長	<p>施策10「福祉ボランティア活動を支援する」について、各課の取り組みの多くが「分類なし」とされ、評価を実施している課が少ない状況である。これらは計画の「主な取り組み」であるため、今後は適切に評価ができるよう検討を求める。</p>
黒古委員	<p>議題（2）「検討部会の活動状況について」に入る。地域部会、こども部会、啓発部会の順で部会長より説明を願う。</p>
磯田委員	<p>地域部会を2回開催し、自立支援協議会の地域生活支援部会・こども部会から検討状況の報告を受けた。</p> <p>地域生活支援では、車椅子利用者の住まい確保やヘルパー不足、情報提供や意思決定支援を含む全障害種別への配慮、地域移行の進捗確認が必要とされた。</p> <p>防災面では、緊急時支援と避難生活を一体的に検討し、福祉避難所の充実や在宅避難者支援が課題とされ、防災訓練への参加呼びかけ強化も要望された。</p> <p>相談・就労支援では、相談支援事業所との連絡のつきにくさや、就労定着支援の体制格差、就労支援センターの人員不足等が課題として挙げられた。</p>
田邊委員	<p>第1回こども部会は12月12日、健康福祉センター内併設の「ういず」及び「元気キッズ」を視察し、職員より支援実態やカリキュラム等の説明を受け現場確認を行った。終了後は今後の協議の進め方について意見交換を行った。なお、次回の部会は本日終了後と3月6日に開催予定である。</p>
議長	<p>第1回啓発部会は1月8日に開催し、担当施策9から14の計画書読み合わせを行った。その際、聴覚障害者の困りごとやボランティア送迎の現状について意見が出された。次回は3月に開催予定であり、意見やアンケート結果、取り組み状況等を踏まえ、重点施策について順次検討を進めていく。</p>
新井委員	<p>ただいまの説明について質問・意見があるか。</p> <p>こども部会について補足する。入間市児童発達支援センターについて、</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>非常によくやっている、と印象を受けた。一方、小学校等の教育現場との支援内容の乖離が課題である。インクルーシブ教育の観点からも、子どもたちが学校で生き生きと学べるよう、連携強化を図ることが今後の重要課題と認識した。</p> <p>議題（３）「令和８年度入間市障害者福祉審議会年間予定について」に入る。事務局から説明願う。</p>
障害者支援課副主幹	<p>（令和８年度入間市障害者福祉審議会年間予定について説明）</p> <p>第２回の会場はＢ棟４階大会議室で決定した。</p>
議長	<p>本日の議題は終了したが全体を通して質問・意見はあるか。</p>
黒古委員	<p>自立支援協議会は非公開で、活動が市民に十分知られていない現状がある。以前も指摘したが周知は限定的である。個人情報を取り扱う場合を除き、開催日程の周知や傍聴を認めるなど、市民に開かれた運営に向けた取り組みが必要である。</p>
障害者支援課長	<p>自立支援協議会の公開に関するご意見については、事務局である障害者支援課および基幹相談支援センターと連携し、協議を進めていきたい。</p> <p>その上で、自立支援協議会の各委員の意見も踏まえ、会議の公開の可否を含めた今後の対応について検討させていただく。</p>
議長	<p>他に意見等ないようなので本日の議題はこれで終了とし、議長の座を降ろさせていただく。事務局は、本日出た課題について担当課に確認し、次回審議会での報告か別途各委員へ通知するか等の対応を願う。</p>
障害者支援課長	<p>本日いただいたご意見は確認し回答について早いタイミングで委員へお伝えする。</p>
磯田委員	<p>委員から情報提供や情報共有したいことがあればお願いしたい。</p> <p>２月２８日は「世界希少・難治性疾患の日」である。各地でイベントが開催されるし、インターネットで「RDD」と検索していただき、難病について知る機会や人が増えることを願う。</p>
障害者支援課長	<p>他にないようであれば次第４その他に移る。事務局より報告願う。</p>
障害者支援課副主幹	<p>（福祉に関するアンケート調査に関して進捗状況を報告。）</p>
障害者支援課長	<p>今年度最後の審議会。この一年委員の皆様のご協力に感謝する。</p> <p>年度が変わり人事異動等により審議会委員に変更がある場合、事務局へ連絡を願う。</p>
荻野委員	<p>退任される新井委員には、４年間にわたり専門的な見地から貴重な意見</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>をいただき深く感謝する。来年度からはアンケート結果を踏まえ次期プラン策定が本格化するため、引き続き協力をお願いしたい。以上で本日の会議を終了する。</p>
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和 8年 3月 10日</p> <p>議 長 の 署 名 <u>今井 英雄</u></p> <p>議長が指名した者の署名 <u>萩野 亨</u></p>	